

おおくす



渋川小 HP の QR コードです



運動に親しみ、運動の楽しさを味わおう！

校長 水谷 茂樹



9月25日(月)のホームページでも紹介しましたが、集会の中で、子どもたちに「『〇〇の秋』といえば何だろう」と問いかけたところ、一番多かったのは「食欲の秋」でした。普段、給食の残食量が少ない本校の児童なので、とても納得できました。ぜひ、「食」を楽しむ秋にしてほしいと思います。他には、「読書の秋」「勉強の秋」「運動の秋・スポーツの秋」など、子どもたちの身近にある秋を教えてくださいました。

本校では、体育の時間はもとより、行事や放課の時間においても、『運動に親しみ、運動の楽しさを味わうことができる子』を育てたいと考え、様々な取組を行っています。

体育の時間では、一人一人の願いや思いを大切にしたり、友達との関わりを大切にしたりする中で、運動の楽しさを感じてほしいと思い、教師も様々な工夫をします。その一例が、タブレットを活用した授業です。マット運動の授業で、演技を動画で撮影した後、スロー再生をしたり、一時停止をしたりして、技の出来具合やよりよくしたい点を班の友達と話し合い、次の目標を立てて技を仕上げていきます。子どもたちに聞くと、「自分の動きが目で見えてわかるし、ここというところで止めると、どこに気をつけたらよいかわかりやすい」と言っていました。タブレットを活用することで、友達との関わりも深まり、お互いに高め合うことができていました。



教職員も年間に数回、体育科の指導について学ぶ研修を行っています。6月には、水泳の指導について、9月には鉄棒運動の指導について、大学の先生を講師にお招きし、示範授業を参観し、子どもたちが運動を楽しんでいる姿を見て、指導・助言・支援の仕方を学びました。授業後、教職員は意欲的に協議会に参加し、熱心に質問して授業に生かそうとしていました。

体育委員会の『^{タイプ}体19の日』について紹介します。毎月、19日あたりの2日間の放課に、参加したい人が参加して、異学年の子とふれあいながら、みんなで運動に親しむ日があります。これまでには、「氷鬼」「ドッジ(いろいろなボール)」「王様ドッジ」「三色ドロケイ」を行い、遊びを通して交流を深め、運動に親しむことができました。体育委員会の子どもたちが、企画・運営者となって活動を進めていきます。異学年交流を大切にしている本校にとって、とても素晴らしい活動であり、今後も続いてほしい活動となっています。(裏面に続く)



学校行事の運動会では、「体育的な集団生活を通して、心身ともに健全な生活の実践に必要な習慣や態度を育成する」「運動に親しみ、楽しさを味わえるようにするとともに、体力の向上を図る」ということを目標に、指導・支援をしています。

10月27日(金)の運動会で、2学年合同で行う表現運動があり、現在どの学年も意欲的に練習をしています。

上の学年の児童が手本を見せたり、下の学年の児童に教えたりする様子も見られ、楽しそうに交流しながら運動に親しむ児童の様子が見られます。当日がとても楽しみです。



秋に家族で運動にチャレンジ！！

9月のはじめ、ある先生と話していたときに、熱中症を予防することは重要なことだが、子どもたちが外で過ごす時間が減っており、体力の低下が心配されるという話になりました。保護者の方や地域の方と話したときにも、同じような心配をされている方もみえました。愛知県の実情としても、子どもたちの体力・運動能力の低下は、大変大きな課題となっています。



愛知県教育委員会保健体育課が作成している「あいち体育のページ」をご存じでしょうか。運動することが「好き」と感じ、運動をすることを「大切」にする児童生徒を育てるとともに、学校・家庭・地域において運動に親しむ機会を増やし、体力向上が図られることをねらいとして作成されたものです。

様々な運動が、「初級」「中級」「挑戦」とレベルごとに動画で紹介されており、楽しみながら運動できるようになっています。私も「初級」に挑戦しましたが、「体力が落ちているなあ」と実感してしまいました。



少しずつ涼しくなり、「運動の秋・スポーツの秋」と呼ばれる季節がやってきました。2年生から5年生については、週末にタブレットを持ち帰ることがありますので、そのときには、ぜひ「あいち体育のページ」を見ながら、家族で楽しく運動してみてください。家族のコミュニケーションや絆も深まると思います。1年生につきましては、週末にタブレットを持ち帰ることをしておりませんので、ご家庭の端末やスマホなどで、よろしければアクセスしてみてください。そして、下の枠に感想などを書いて、校長室に持ってきてください。取り組みの様子を、教えてもらえると嬉しいです。

感想待ってま〜す

